

平成 30 年 6 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社カイオム・バイオサイエンス
代表者名 代表取締役社長 小林 茂
(コード：4583 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 経営企画室長 美女平 在彦
(TEL. 03-6383-3746)

ヒト化抗セマフォリン 3A 抗体に関する日本特許付与決定についてのお知らせ

本日、当社で開発を進めている抗セマフォリン 3A 抗体に関する特許について、日本における特許付与の決定通知を受領いたしましたので、お知らせいたします。

- 【発明の名称】 抗セマフォリン 3A 抗体、並びにこれを用いたアルツハイマー病及び免疫・炎症性疾患の治療
- 【特許出願番号】 特願 2014-560799
- 【特許権者】 公立大学法人横浜市立大学、株式会社カイオム・バイオサイエンス

本特許は当社パイプラインの BMAA に関連する特許であり、この度の f 日本での特許付与決定は BMAA の知財基盤を強化するものであると考えております。なお、本特許はこれまでに米国で成立しております。

現在 BMAA については、糖尿病黄斑浮腫及び非眼科領域を含む糖尿病合併症に対する治療薬及び診断薬の開発に関する共同研究ライセンス及び独占的オプション契約の下で SemaThera 社（本社、モンリオール、カナダ）が導入のための評価を実施しています。

本件が平成 30 年 12 月期業績に与える影響はありません。

以 上

● 参考情報

<セマフォリン 3A>

セマフォリン 3A は、神経軸索伸長のガイダンス因子として知られるセマフォリンファミリーに属するタンパク質です。セマフォリン 3A については、現在、神経再生や骨代謝の他、中枢神経疾患、アレルギー、がん、炎症性疾患、感染症、糖尿病性合併症など、多くのアンメットニーズの高い疾患に関わっていることが論文上で報告されており、疾患の発生や増悪との関連についての研究が進められています。

<BMAA について>

セマフォリン 3A をターゲットとしたヒト化モノクローナル抗体を開発するプロジェクトです。本抗体は、公立大学法人横浜市立大学大学院 医学研究科薬理学教室 五嶋良郎教授との共同研究によりセマフォリン 3A の作用を抑制する機能性抗体として確立しヒト化したものです。

<糖尿病黄斑浮腫>

糖尿病黄斑浮腫は、成人人口における視力低下、失明の主な原因です。網膜の中心部である黄斑や目の中心に液体がたまることで黄斑がむくみ、視力の低下が起こります。糖尿病の患者さんのうちの約 1/3 が、糖尿病網膜症またはその関連症状を持っており、さらに糖尿病網膜症を持つ人のうちの約 1/3 が糖尿病黄斑浮腫を含む視力障害を持つことが知られています。

(日本糖尿病眼学会サイト <http://www.jsod.jp/ippan/index.html>)